



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月14日

上場会社名 株式会社 安楽亭
 コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 安部 一夫 TEL 048-859-0555
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	16,342	3.6	185	46.9	126	60.4	103	
2018年3月期	16,947	2.5	348	80.2	320	87.1	149	

(注) 包括利益 2019年3月期 131百万円 (%) 2018年3月期 151百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	48.31		1.7	0.8	1.1
2018年3月期	69.80		2.4	2.1	2.1

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	15,486	6,115	39.5	2,860.09
2018年3月期	15,467	6,248	40.4	2,921.75

(参考) 自己資本 2019年3月期 6,115百万円 2018年3月期 6,248百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	439	417	66	2,954
2018年3月期	1,290	690	168	2,864

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		0.00	0.00			
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,014	4.8	220	30.2	217	40.0	77	22.2	36.01
通期	15,652	4.2	250	35.1	247	96.0	29		13.56

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	2,139,434 株	2018年3月期	2,150,434 株
期末自己株式数	2019年3月期	1,164 株	2018年3月期	11,985 株
期中平均株式数	2019年3月期	2,138,413 株	2018年3月期	2,138,564 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	15,003	4.3	78	67.9	56	78.0	171	
2018年3月期	15,683	2.7	246	991.0	256	5.3	109	330.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	80.22	
2018年3月期	51.36	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	14,154	5,457	38.6	2,552.08
2018年3月期	14,135	5,655	40.0	2,644.83

(参考) 自己資本 2019年3月期 5,457百万円 2018年3月期 5,655百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	7,383	4.5	202	53.0	67	39.6	円 銭 31.33
通期	14,416	3.9	213	280.4	7		3.27

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年5月17日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、個人消費も緩やかな回復基調にあるものの、可処分所得は伸び悩んでおり、力強さに欠ける状況で推移しました。また、海外においては、米中貿易摩擦、中国経済の減速、英国のEU離脱問題等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、消費者の根強い節約志向を背景として業種・業態を超えた競争が激化する一方、牛肉等の原材料価格の高騰、人手不足に伴う人件費の上昇等、コスト増加の傾向が続いており、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境の下、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」、「無添加」の商品提供を堅持するとともに、加えて、付加価値の高いメニューの開発や既存店舗の改装を推進し、お客様に満足いただける店舗作りに注力してまいりました。また、店舗人員を確保し、サービスレベルを維持向上させるため、従業員の長時間労働の是正や短時間労働者の待遇改善・社会保険の適用拡大等、働く環境の改善と業務の効率化にも努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高163億42百万円（対前年同期比3.6%減）、営業利益1億85百万円（対前年同期比46.9%減）、経常利益1億26百万円（対前年同期比60.4%減）、親会社株主に帰属する当期純損失1億3百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益1億49百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<安楽亭業態>

安楽亭業態の当連結会計年度末の店舗数は187店舗であります。内訳は直営141店舗、暖簾14店舗、FC32店舗であります。

販売促進及び商品開発等につきましては、昨年度に引き続きメルマガやLINE配信、Twitter等によるお客様へのご案内を推進し、「スポーツ割&スイーツ割クーポン」、「健康応援ヘルシークーポン」、「『いい肉の日』キャンペーン」等の多彩なクーポン配信を行いました。また、「焼肉ドラゴン」、「翔んで埼玉」等、話題の映画とのコラボ企画も実施し、「翔んで埼玉」とのコラボフェアでは、コラボメニューとSNSへの画像投稿を組み合わせたキャンペーンを行う等、安楽亭の楽しさを伝える企画を展開し、多くのお客様よりご好評をいただくことができました。

以上の結果、安楽亭業態の当連結会計年度の売上高は135億26百万円（対前年同期比4.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は6億49百万円（対前年同期比12.8%減）となりました。

<七輪房業態>

七輪房業態の当連結会計年度末の店舗数は28店舗であります。内訳は直営24店舗、暖簾2店舗、FC2店舗であります。

販売促進等につきましては、「春一番七輪房の牛タン祭」、「肉の日スペシャルクーポン」、「秋の行楽セット」、「七輪房の日&年末年始大感謝祭プレミアムクーポン祭」、「七輪房の日」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアの実施、メルマガやLINEによるクーポン配信を行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当連結会計年度の売上高は24億22百万円（対前年同期比4.1%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1億14百万円（対前年同期比37.8%減）となりました。

<その他業態>

その他業態の当連結会計年度末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営4店舗、FC5店舗であります。

なお、その他の業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「ロンチャン（中華）」、「アグリコ（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当連結会計年度の売上高は3億93百万円（対前年同期比21.7%減）となり、セグメント利益（営業利益）は9百万円（前年同期はセグメント損失17百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ19百万円増加し、154億86百万円となりました。これは、現金及び預金や棚卸資産等の増加及び有形固定資産等の減少が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ1億51百万円増加し、93億71百万円となりました。これは、借入金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ1億32百万円減少し、61億15百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純損失の計上等が要因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より90百万円増加し、29億54百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上21百万円、減価償却費の計上6億1百万円等により4億39百万円の収入となりました。前年同期と比べ8億50百万円(対前年同期比65.9%)の収入の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出4億17百万円、無形固定資産の取得による支出36百万円、敷金及び保証金の回収による収入47百万円等により4億17百万円の支出となりました。前年同期と比べ2億73百万円(対前年同期比39.5%)の支出の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入40億78百万円、長期借入金の返済による支出37億83百万円、割賦債務の返済による支出1億89百万円等により66百万円の収入となりました。前年同期は1億68百万円の支出でありました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率(%)	41.0	43.2	41.1	40.4	39.5
時価ベースの自己資本比率(%)	66.2	68.1	65.7	64.5	67.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	13.5	7.7	7.6	4.7	14.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	3.3	7.3	9.2	17.3	6.6

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

4. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。

有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、人員確保及び処遇改善のための人件費上昇や牛肉等原材料の価格上昇等によるコスト増加の傾向が続く上、2019年10月に予定される消費税増税の影響も懸念される等、依然として厳しい経営環境が継続していくものと予想されます。

このような状況の下、当社グループは、上記コスト増加をカバーするため、人材教育とコスト適正化に徹底して取り組み、生産性の向上を図るとともに、顧客のニーズにきめ細やかに応えられる商品開発や店舗作りを推進し、収益構造の強化に努めてまいります。加えて、新規出店と既存店舗改装にも引き続き積極的に取り組み、着実な成長を追求してまいります。

また、商品の安全性・信頼性を確保し、加えて企業倫理や法令遵守の徹底を図るため、内部統制システムの充実・強化、環境保全活動の推進、個人情報保護・管理体制の整備等に取り組み、公正で透明性の高い、社会から信頼される企業を目指してまいります。

通期の連結業績見通しにつきましては、売上高156億52百万円、営業利益2億50百万円、経常利益2億47百万円、親会社株主に帰属する当期純利益29百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,865,547	2,955,696
受取手形及び売掛金	415,774	421,191
商品及び製品	133,869	127,219
仕掛品	854	956
原材料及び貯蔵品	475,929	601,611
前払費用	202,916	203,354
その他	96,727	53,918
貸倒引当金	△226	△5,098
流動資産合計	4,191,392	4,358,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,423,065	10,510,990
減価償却累計額	△7,542,997	△7,813,654
建物及び構築物(純額)	2,880,068	2,697,335
機械装置及び運搬具	286,176	316,698
減価償却累計額	△186,024	△221,217
機械装置及び運搬具(純額)	100,151	95,480
工具、器具及び備品	2,556,313	2,680,171
減価償却累計額	△2,201,228	△2,378,885
工具、器具及び備品(純額)	355,084	301,286
土地	5,003,923	5,003,923
リース資産	229,514	223,277
減価償却累計額	△174,968	△207,064
リース資産(純額)	54,545	16,213
建設仮勘定	2,255	221,222
有形固定資産合計	8,396,029	8,335,463
無形固定資産		
のれん	54,460	32,011
その他	131,862	129,669
無形固定資産合計	186,322	161,681
投資その他の資産		
投資有価証券	94,931	64,728
長期貸付金	6,377	5,896
長期前払費用	21,149	19,601
繰延税金資産	142,875	153,809
敷金及び保証金	2,416,304	2,376,896
その他	38,333	35,833
貸倒引当金	△26,289	△26,048
投資その他の資産合計	2,693,682	2,630,717
固定資産合計	11,276,033	11,127,862
資産合計	15,467,426	15,486,712

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,620	568,482
短期借入金	901,818	1,060,713
リース債務	40,802	15,109
割賦未払金	188,346	186,788
未払金	169,967	185,517
設備関係未払金	75,226	129,826
未払費用	506,328	475,777
未払法人税等	149,631	122,484
未払消費税等	126,076	119,535
賞与引当金	72,800	71,000
転貸損失引当金	13,297	13,297
その他	569,890	567,107
流動負債合計	3,438,806	3,515,639
固定負債		
長期借入金	4,367,797	4,503,555
リース債務	16,786	1,534
長期割賦未払金	577,561	519,189
繰延税金負債	105,383	104,751
役員退職慰労引当金	351,481	368,569
転貸損失引当金	49,430	36,133
退職給付に係る負債	213,628	223,167
その他	98,534	98,534
固定負債合計	5,780,602	5,855,436
負債合計	9,219,409	9,371,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,472,098
利益剰余金	599,159	495,853
自己株式	△70,998	△6,704
株主資本合計	6,247,807	6,143,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209	△27,611
為替換算調整勘定	—	△384
その他の包括利益累計額合計	209	△27,995
純資産合計	6,248,017	6,115,636
負債純資産合計	15,467,426	15,486,712

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	16,947,306	16,342,314
売上原価	6,092,545	5,930,987
売上総利益	10,854,760	10,411,327
販売費及び一般管理費	10,506,183	10,226,304
営業利益	348,576	185,022
営業外収益		
受取利息	2,457	1,752
受取配当金	1,948	1,944
受取地代家賃	7,272	7,225
貸倒引当金戻入額	684	—
その他	47,421	40,485
営業外収益合計	59,784	51,408
営業外費用		
支払利息	75,576	66,886
為替差損	2,120	34
賃貸収入原価	5,832	5,832
貸倒引当金繰入額	—	4,631
支払手数料	—	28,550
その他	4,393	3,592
営業外費用合計	87,922	109,526
経常利益	320,438	126,904
特別利益		
固定資産売却益	13,745	635
受取保険金	39,502	10,087
特別利益合計	53,248	10,723
特別損失		
固定資産売却損	243	—
固定資産除却損	14,025	12,186
子会社株式評価損	59,938	—
減損損失	27,350	99,233
賃貸借契約解約損	11,188	1,556
訴訟和解金	10,295	3,287
特別損失合計	123,040	116,263
税金等調整前当期純利益	250,646	21,363
法人税、住民税及び事業税	130,470	135,604
法人税等調整額	△29,100	△10,934
法人税等合計	101,370	124,669
当期純利益又は当期純損失(△)	149,275	△103,306
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	149,275	△103,306

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	149,275	△103,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,226	△27,820
為替換算調整勘定	—	△241
その他の包括利益合計	2,226	△28,062
包括利益	151,502	△131,368
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	151,502	△131,368

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,182,385	2,537,261	449,883	△70,080	6,099,449
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			149,275		149,275
自己株式の取得				△917	△917
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	149,275	△917	148,357
当期末残高	3,182,385	2,537,261	599,159	△70,998	6,247,807

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△2,017	△2,017	6,097,432
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			149,275
自己株式の取得			△917
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	2,226	2,226	2,226
当期変動額合計	2,226	2,226	150,584
当期末残高	209	209	6,248,017

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,182,385	2,537,261	599,159	△70,998	6,247,807
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△103,306		△103,306
自己株式の取得				△869	△869
自己株式の処分		△65,163		65,163	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△65,163	△103,306	64,293	△104,175
当期末残高	3,182,385	2,472,098	495,853	△6,704	6,143,632

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	209	—	209	6,248,017
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△103,306
自己株式の取得				△869
自己株式の処分				—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△27,820	△384	△28,205	△28,205
当期変動額合計	△27,820	△384	△28,205	△132,380
当期末残高	△27,611	△384	△27,995	6,115,636

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	250,646	21,363
減価償却費	646,968	601,301
減損損失	27,350	99,233
のれん償却額	13,615	13,615
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△684	4,631
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,500	△1,800
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15,990	17,087
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△13,297	△13,297
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,513	9,519
受取利息及び受取配当金	△4,406	△3,697
支払利息	75,576	66,886
為替差損益 (△は益)	2,120	34
固定資産売却損益 (△は益)	△13,502	△635
受取保険金	△39,502	△10,087
固定資産除却損	14,025	12,186
子会社株式評価損	59,938	—
賃貸借契約解約損	11,188	1,556
訴訟和解金	10,295	3,287
売上債権の増減額 (△は増加)	△59,975	△5,417
たな卸資産の増減額 (△は増加)	158,750	△118,694
前渡金の増減額 (△は増加)	△252	△3,009
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,631	△57,009
未払金の増減額 (△は減少)	△39,954	14,649
未払消費税等の増減額 (△は減少)	58,975	△14,558
未払費用の増減額 (△は減少)	20,580	△26,648
預り金の増減額 (△は減少)	46,350	△1,112
前受収益の増減額 (△は減少)	181,263	△50,197
その他	△2,984	47,593
小計	1,452,716	606,782
利息及び配当金の受取額	2,593	2,117
利息の支払額	△74,633	△66,981
保険金の受取額	39,502	60,272
店舗閉鎖に伴う支払額	△20,138	△4,478
訴訟和解金の支払額	△10,295	△3,287
法人税等の支払額	△99,712	△154,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,290,032	439,889

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△486,723	△417,783
有形固定資産の売却による収入	14,545	1,562
無形固定資産の取得による支出	△39,558	△36,160
事業譲受による支出	△90,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△233,827	△8,400
敷金及び保証金の回収による収入	156,724	47,086
預り保証金の返還による支出	△3,500	△5,000
預り保証金の受入による収入	14,000	5,000
貸付金の回収による収入	1,479	487
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△23,839	△4,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△690,698	△417,534
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	865,000	4,078,520
長期借入金の返済による支出	△835,020	△3,783,867
割賦債務の返済による支出	△157,452	△189,270
リース債務の返済による支出	△40,104	△37,644
自己株式の取得による支出	△917	△869
財務活動によるキャッシュ・フロー	△168,495	66,868
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,120	△332
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	428,718	88,891
現金及び現金同等物の期首残高	2,435,813	2,864,532
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	1,256
現金及び現金同等物の期末残高	2,864,532	2,954,680

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはレストラン事業における焼肉レストランを主要事業として、ブランドごとの包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは焼肉レストランの主要業態「安楽亭業態」、「七輪房業態」及び「その他業態」の3つを報告セグメントとしております。

「安楽亭業態」は、郊外型で開放的な空間での焼肉をリーズナブルな価格で提供しております。「七輪房業態」は、焼肉部門第二の核として「安楽亭業態」より客単価の高い設定で、個室を多く配置し、落ち着いた空間での食事を提供しております。「その他業態」は、「からくに屋(焼肉)」、「国産牛カルビ本舗安楽亭(焼肉)」、「花炎亭(焼肉)」、「春秋亭(和食)」、「上海菜館(中華)」、「ロンチャン(中華)」、「アグリコ(イタリアン)」、「カフェビーンズ(喫茶)」を含んでおります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	14,117,096	2,327,000	503,208	16,947,306	16,947,306	—	16,947,306
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	14,117,096	2,327,000	503,208	16,947,306	16,947,306	—	16,947,306
セグメント利益又は損失(△)	744,808	183,423	△17,789	910,441	910,441	△561,865	348,576
セグメント資産	13,041,870	1,553,031	260,081	14,854,982	14,854,982	612,443	15,467,426
その他の項目							
減価償却費	491,648	99,400	10,533	601,583	601,583	45,384	646,968
のれん償却額	7,533	2,944	3,137	13,615	13,615	—	13,615
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	831,049	67,198	30,136	928,384	928,384	5,065	933,449

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額612,443千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額5,065千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	13,526,060	2,422,309	393,945	16,342,314	16,342,314	—	16,342,314
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,526,060	2,422,309	393,945	16,342,314	16,342,314	—	16,342,314
セグメント利益	649,473	114,100	9,991	773,564	773,564	△588,542	185,022
セグメント資産	12,905,096	1,640,852	227,629	14,773,578	14,773,578	713,133	15,486,712
その他の項目							
減価償却費	452,756	95,713	11,418	559,889	559,889	41,412	601,301
のれん償却額	7,533	2,944	3,137	13,615	13,615	—	13,615
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	349,981	33,717	13,564	397,263	397,263	26,092	423,356

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額713,133千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額26,092千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	2,921.75円	2,860.09円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	69.80円	△48.31円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	149,275	△103,306
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	149,275	△103,306
普通株式の期中平均株式数(株)	2,138,564	2,138,413

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2018年3月31日)	当連結会計年度末 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,248,017	6,115,636
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,248,017	6,115,636
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	2,138,449	2,138,270

(重要な後発事象)

該当事項はありません。